

## (8) 障害者雇用に関する関係機関との連携

### ① 募集・採用活動について

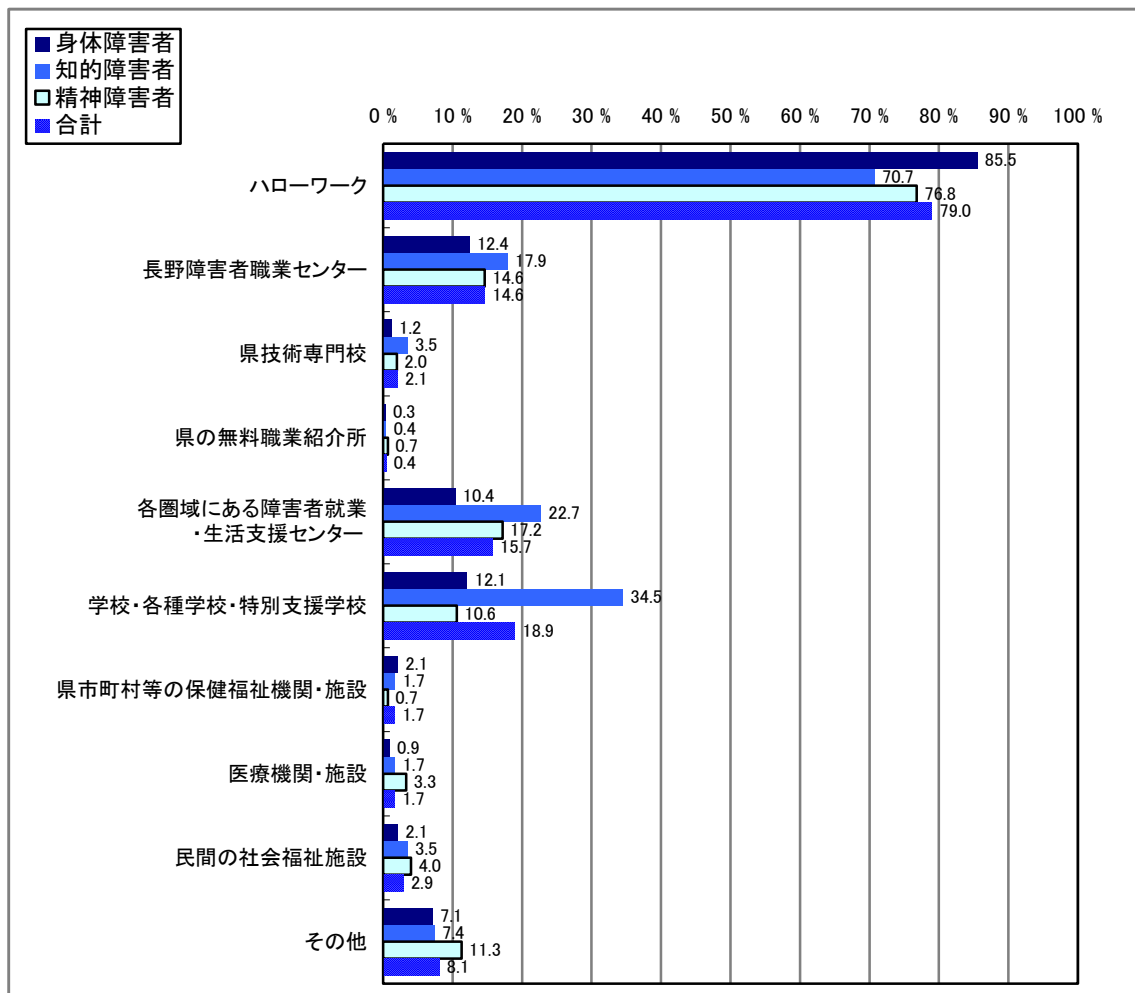
『身体障害者』の募集・採用活動について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は 37.6% (344 事業所) で、「ハローワーク」との連携が 85.5% (289 件) と最も高くなっている。

『知的障害者』の募集・採用活動について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は 27.6% (238 事業所) と相対的に低く、「ハローワーク」との連携が 70.7% (162 件) と最も高くなっている。

『精神障害者』の募集・採用活動について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は 18.8% (153 事業所) と最も低く、「ハローワーク」との連携が 76.8% (116 件) と最も高くなっている。

募集・採用活動について、『身体障害者』、『知的障害者』、『精神障害者』はともに、「ハローワーク」が圧倒的に割合が高くなっている。また、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」及び「学校・各種学校・特別支援学校」は、『知的障害者』に関しては、比較的大きな役割を果たしている。

図 16 募集・採用活動で連携した関係機関（複数回答：3 つまで）



(単位:事業所)

募集・採用活動で連携した関係機関	身体障害者 回答数	知的障害者 回答数	精神障害者 回答数	合計 回答数
ハローワーク	289	162	116	567
長野障害者職業センター	42	41	22	105
県技術専門校	4	8	3	15
県の無料職業紹介所	1	1	1	3
各圏域にある障害者就業・生活支援センター	35	52	26	113
学校・各種学校・特別支援学校	41	79	16	136
県市町村等の保健福祉機関・施設	7	4	1	12
医療機関・施設	3	4	5	12
民間の社会福祉施設	7	8	6	21
その他	24	17	17	58
合計	338	229	151	718

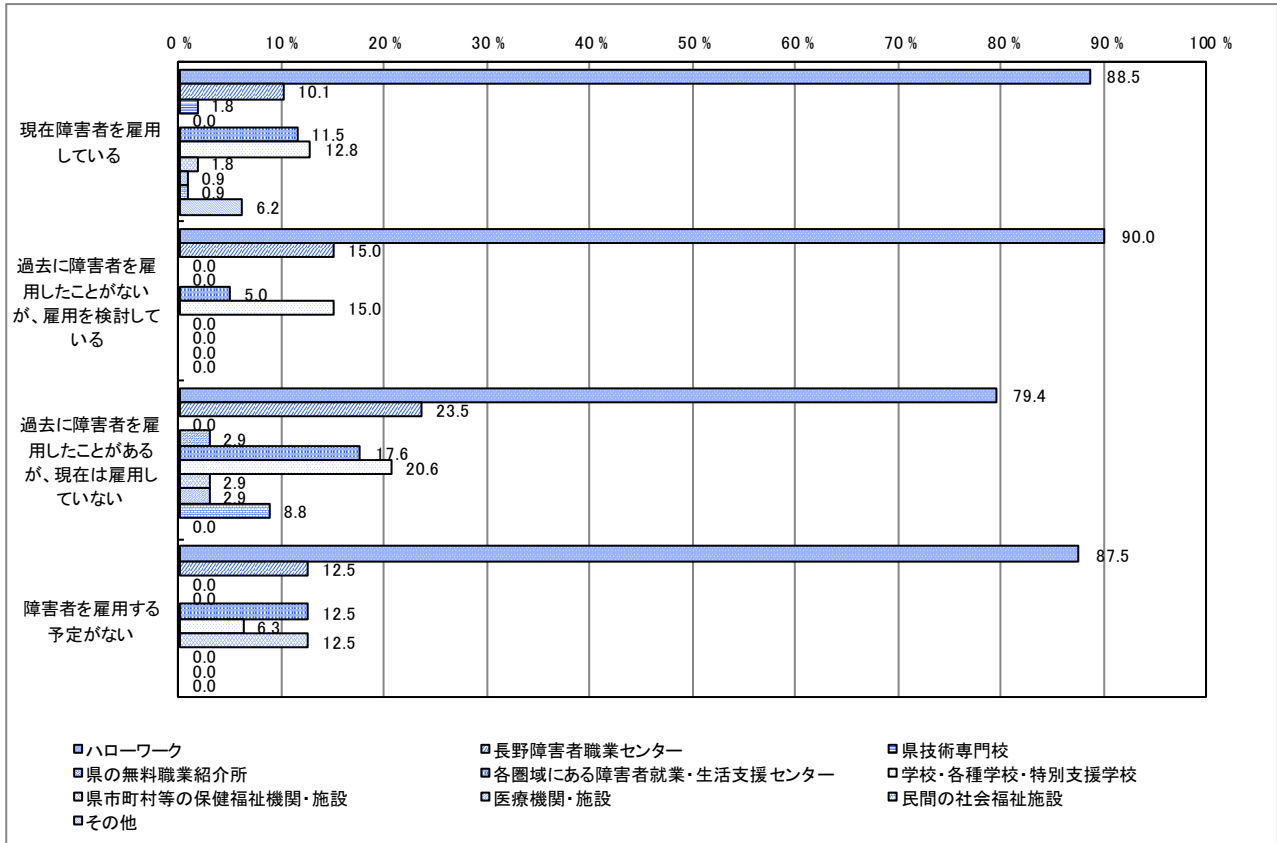
※合計回答数については、身体障害者、知的障害者、精神障害者それぞれの重複回答を含む。

#### <身体障害者募集・採用活動について連携した関係機関>

##### 【雇用現状別】

雇用現状別では、『身体障害者』の募集・採用活動についてはいずれの事業所も「ハローワーク」との連携が最も高く、8割弱から9割を占めた。「ハローワーク」に次いで、「現在障害者を雇用している」事業所では、「学校・各種学校・特別支援学校」12.8% (29件)、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」11.5% (26件)「長野障害者職業センター」10.1% (23件)と続いた。同じく、「過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している」事業所では、「長野障害者職業センター」「学校・各種学校・特別支援学校」がともに15.0% (3件)で続き、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」は5.0% (1件)にとどまった。同じく、「過去に障害者を雇用したことがあるが現在は雇用していない」事業所では、「長野障害者職業センター」23.5% (8件)、「学校・各種学校・特別支援学校」20.6% (7件)、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」17.6% (6件)と続いた。「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「学校・各種学校・特別支援学校」が6.3% (1件)と低い割合にとどまった。

図 16-1 身体障害者募集・採用活動で連携した関係機関（雇用現状別）



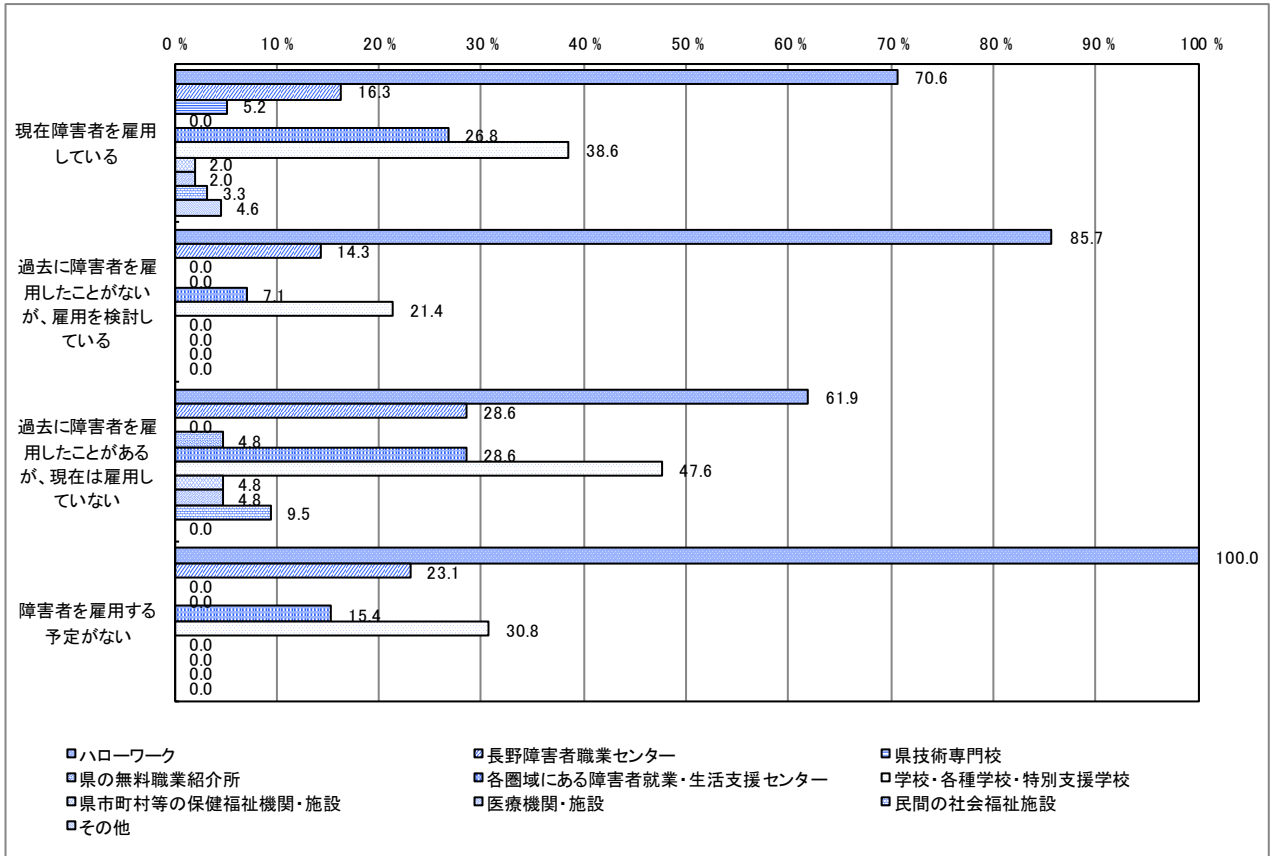
		回答件数 計	ハローワーク	長野障害者職業センター	県技術専門学校	県の無料職業紹介所	各圏域にある障害者就業・生活支援センター	学校・各種学校・特別支援学校	各市町村等の保健福祉機関・施設	医療機関・施設	民間の社会福祉施設	その他
雇用現状別	現在障害者を雇用している	227	201	23	4	0	26	29	4	2	2	14
	過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している	20	18	3	0	0	1	3	0	0	0	0
	過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない	34	27	8	0	1	6	7	1	1	3	0
	障害者を雇用する予定がない	16	14	2	0	0	2	1	2	0	0	0

<知的障害者募集・採用活動について連携した関係機関>

【雇用現状別】

雇用現状別では、『知的障害者』の募集・採用活動についてはいずれの事業所も「ハローワーク」が最も高く、次いで「学校・各種学校・特別支援学校」となった。次いで、「現在障害者を雇用している」事業所では「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」26.8%（41件）、「長野障害者職業センター」16.3%（25件）となった。「過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している」事業所では、「長野障害者職業センター」14.3%（2件）、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」7.1%（1件）となった。同じく、「過去に障害者を雇用したことがあるが現在は雇用していない」事業所では、「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」がともに28.6%（6件）となった。同じく、「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「長野障害者職業センター」23.1%（3件）、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」15.4%（2件）となった。

図 16-2 知的障害者募集・採用活動で連携した関係機関（雇用現状別）



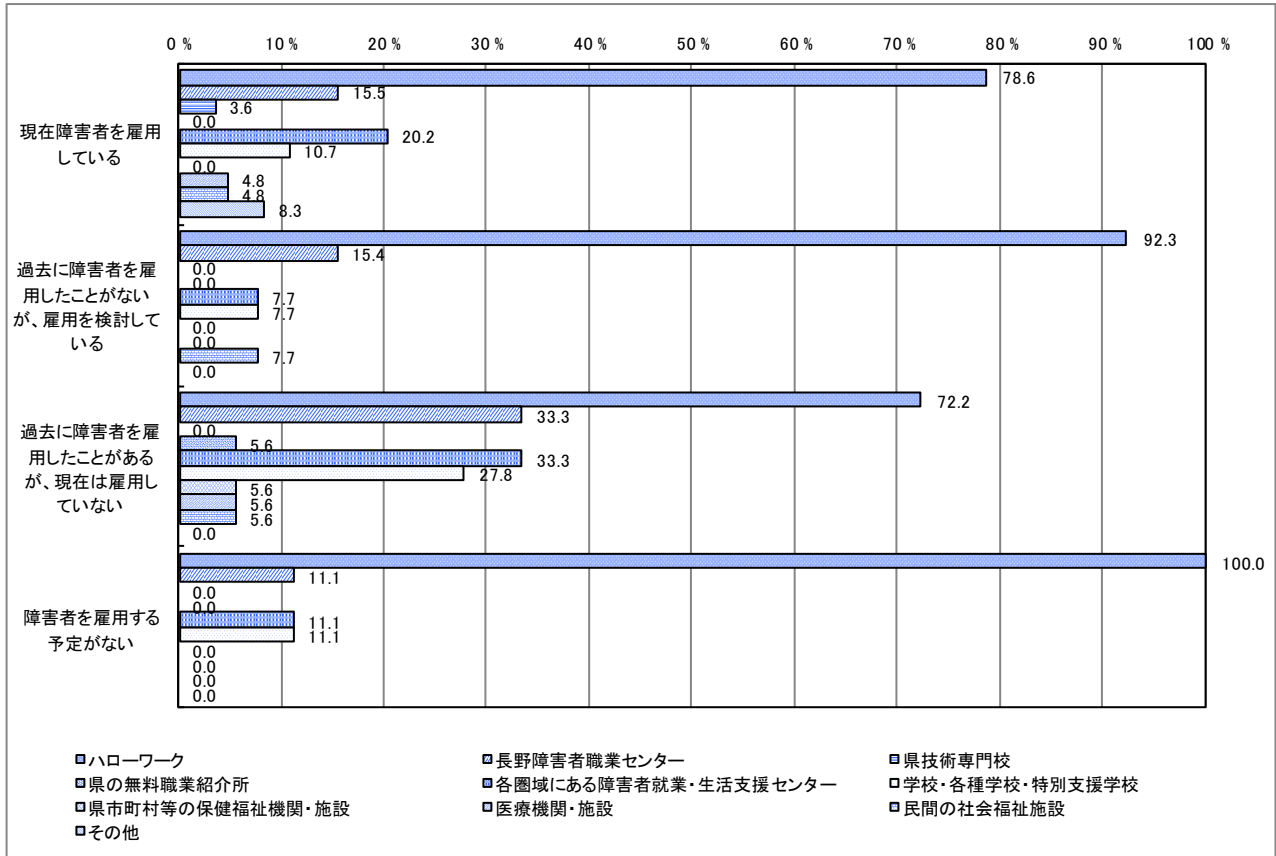
	回答件数 計	ハローワーク	長野障害者職業センター	県技術専門学校	県の無料職業紹介所	各圏域にある障害者就業・生活支援センター	学校・各種学校・特別支援学校	各市町村等の保健福祉機関・施設	医療機関・施設	民間の社会福祉施設	その他
現在障害者を雇用している	153	108	25	8	0	41	59	3	3	5	7
過去に障害者を雇用したが、雇用を検討している	14	12	2	0	0	1	3	0	0	0	0
過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない	21	13	6	0	1	6	10	1	1	2	0
障害者を雇用する予定がない	13	13	3	0	0	2	4	0	0	0	0

＜精神障害者募集・採用活動について連携した関係機関＞

【雇用現状別】

雇用現状別では、『精神障害者』の募集・採用活動についてはいずれの事業所も「ハローワーク」が最も高く、7割以上を占めた。「ハローワーク」に次いで、「現在障害者を雇用している」事業所では「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」20.2%（17件）、「長野障害者職業センター」15.5%（13件）と続いた。同じく「過去に障害者を雇用したが、雇用を検討している」事業所では、「長野障害者職業センター」15.4%（2件）、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」「学校・各種学校・特別支援学校」「民間の社会福祉施設」がともに7.7%（1件）と続いた。同じく「過去に障害者を雇用したことがあるが現在は雇用していない」事業所では、「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」がともに33.3%（6件）、「学校・各種学校・特別支援学校」が27.8%（5件）と続いた。同じく「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」「学校・各種学校・特別支援学校」がともに11.1%（1件）となった。

図 16-3 精神障害者募集・採用活動で連携した関係機関（雇用現状別）



雇用現状	回答件数 計	ハローワーク	長野障害者職業センター	県技術専門校	県の無料職業紹介所	各圏域にある障害者就業・生活支援センター	学校・各種学校・特別支援学校	県市町村等の保健福祉機関・施設	医療機関・施設	民間の社会福祉施設	その他
現在障害者を雇用している	84	66	13	3	0	17	9	0	4	4	7
過去に障害者を雇用したが、雇用を検討している	13	12	2	0	0	1	1	0	0	1	0
過去に障害者を雇用したが、現在は雇用していない	18	13	6	0	1	6	5	1	1	1	0
障害者を雇用する予定がない	9	9	1	0	0	1	1	0	0	0	0

②雇用継続、職場定着について

『身体障害者』の雇用継続、職場定着について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は8.6%（71事業所）で、「ハローワーク」との連携が54.1%（33件）で最も高く、次いで「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が42.6%（26件）、「長野障害者職業センター」が32.8%（20件）となっている。

『知的障害者』の雇用継続、職場定着について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は11.9%（96事業所）で、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」との連携が52.3%（46件）で最も高く、次いで「ハローワーク」が39.8%（35件）、「長野障害者職業センター」が35.2%（31件）となっている。

『精神障害者』の雇用継続、職場定着について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は7.9%（61事業所）で、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」との連携が46.4%（26件）で最も高く、次いで「長野障害者職業センター」が35.7%（20件）、「ハローワーク」が32.1%（18件）となっ

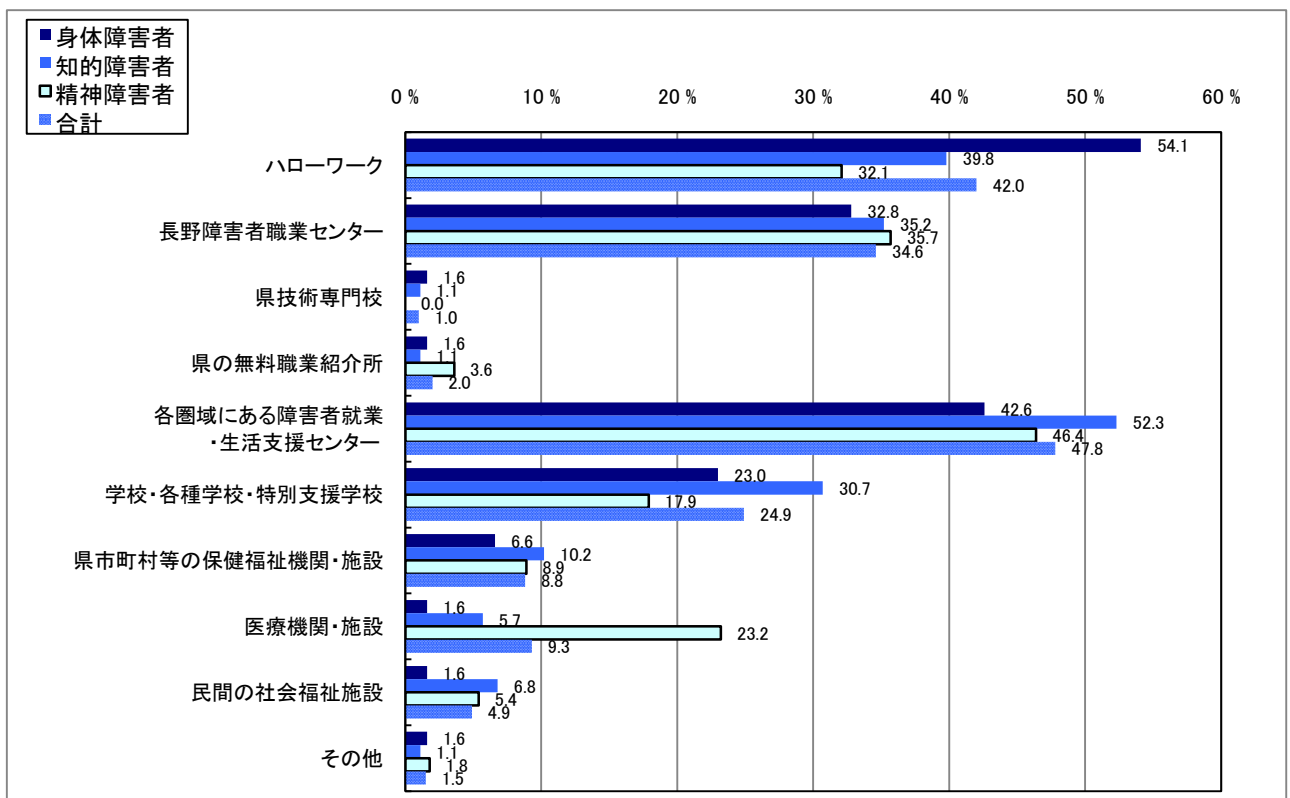
ている。

雇用継続、職場定着について、「ハローワーク」との連携では、『身体障害者』が5割超、『知的障害者』が4割弱、『精神障害者』が3割と違いがある。

「長野障害者職業センター」との連携は、『身体』、『知的』、『精神』いずれの障害区分も3割程度であり、また、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」との連携は、『身体』、『知的』、『精神』いずれの障害区分も4割から5割となっており、ともに一定の役割を果たしている。

「学校・各種学校・特別支援学校」との連携では、2割弱から3割であり、『知的障害者』が最も高くなっており、「医療機関・施設」との連携は、『精神障害者』が最も高くなっている。

図 17 雇用継続、職場定着で連携した関係機関（複数回答：3つまで）



※。

(単位:事業所)

雇用継続、職場定着で連携した関係機関	身体障害者 回答数	知的障害者 回答数	精神障害者 回答数	合計 回答数
ハローワーク	33	35	18	86
長野障害者職業センター	20	31	20	71
県技術専門学校	1	1	0	2
県の無料職業紹介所	1	1	2	4
各圏域にある障害者就業・生活支援センター	26	46	26	98
学校・各種学校・特別支援学校	14	27	10	51
県市町村等の保健福祉機関・施設	4	9	5	18
医療機関・施設	1	5	13	19
民間の社会福祉施設	1	6	3	10
その他	1	1	1	3
合計	61	88	56	205

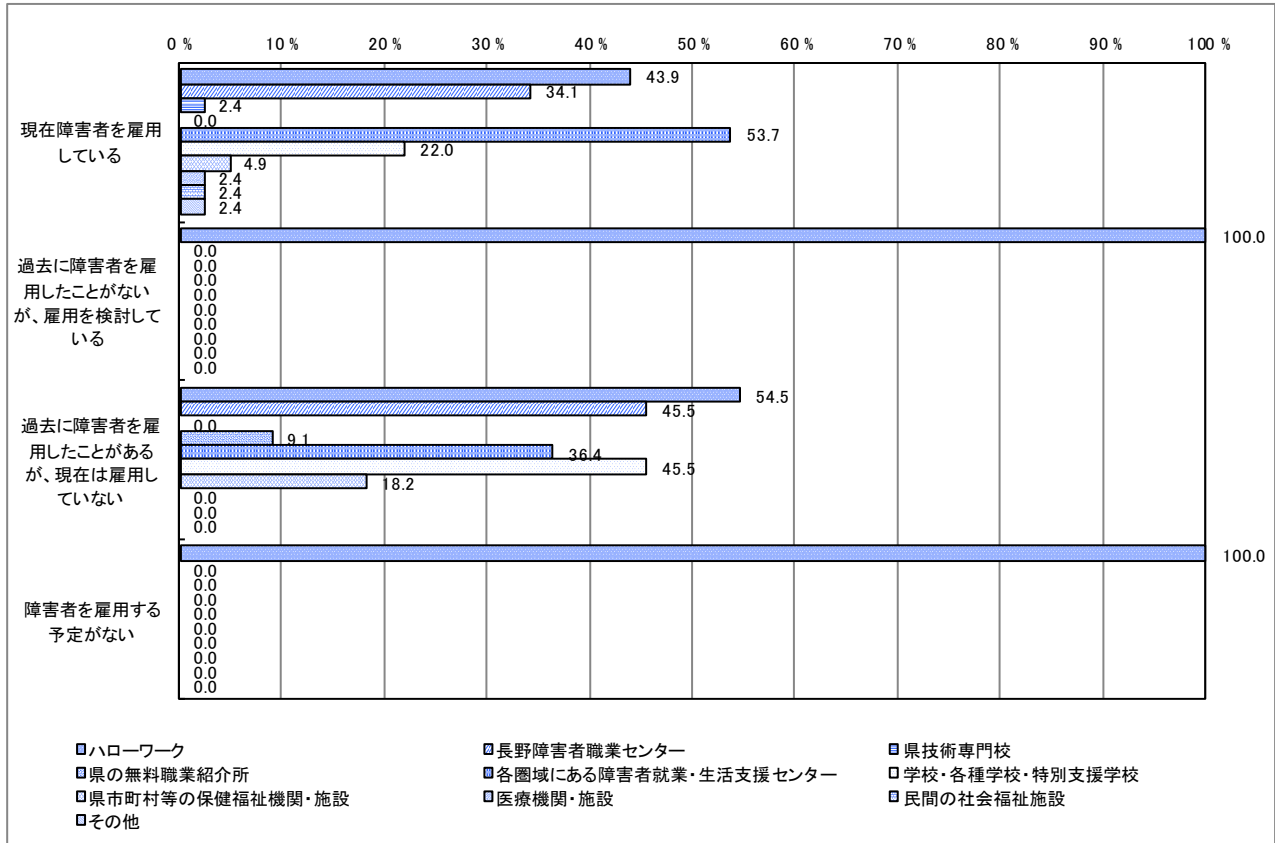
※合計回答数については、身体障害者、知的障害者、精神障害者それぞれの重複回答を含む。

#### <身体障害者雇用継続・職場定着について連携した関係機関>

##### 【雇用現状別】

雇用現状別では、『身体障害者』の雇用継続、職場定着について、「現在障害者を雇用している」事業所では「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が 53.7% (22 件) と最も高く、次いで「ハローワーク」43.9% (18 件)、「長野障害者職業センター」34.1% (14 件) となった。「過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない」事業所では、「ハローワーク」が 54.5% (6 件) と最も高く、次いで「長野障害者職業センター」「学校・各種学校・特別支援学校」がともに 45.5% (5 件)、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が 36.4% (4 件) となった。「過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している」事業所、「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「ハローワーク」との連携のみであった。

図 17-1 身体障害者雇用継続、職場定着で連携した関係機関（雇用現状別）



雇用現状別	回答件数 計	ハローワーク	長野障害者職業センター	県技術専門学校	県の無料職業紹介所	各圏域にある障害者就業・生活支援センター	学校・各種学校・特別支援学校	各市町村等の保健福祉機関・施設	医療機関・施設	民間の社会福祉施設	その他
現在障害者を雇用している	41	18	14	1	0	22	9	2	1	1	1
過去に障害者を雇用したが、雇用を検討している	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない	11	6	5	0	1	4	5	2	0	0	0
障害者を雇用する予定がない	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

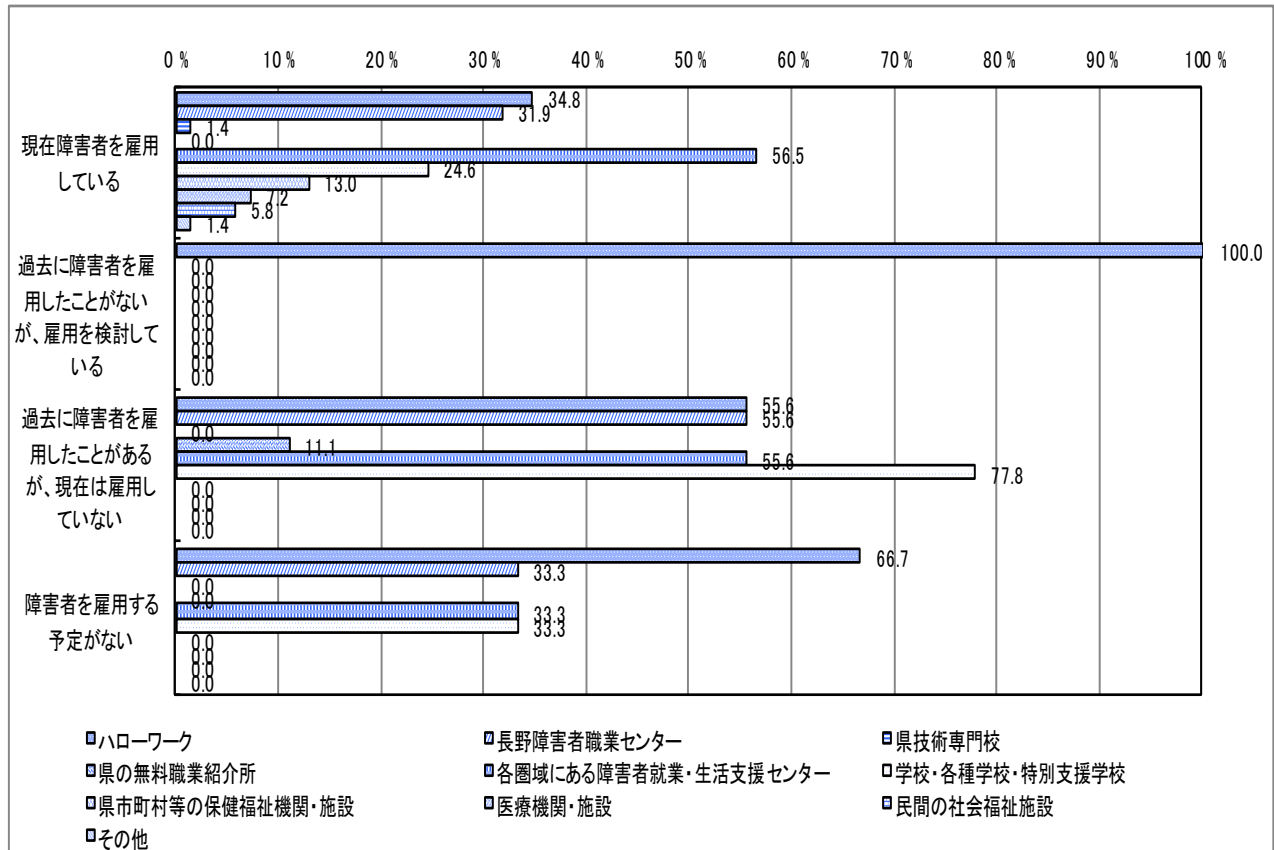
<知的障害者雇用継続・職場定着について連携した関係機関>

【雇用現状別】

雇用現状別では、『知的障害者』の雇用継続、職場定着について、「現在障害者を雇用している」事業所では「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が 56.5%（39 件）と最も高く、次いで「ハローワーク」34.8%（24 件）、「長野障害者職業センター」31.9%（22 件）となった。「過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない」事業所では、「学校・各種学校・特別支援学校」が 77.8%（7 件）と最も高く、次いで「ハローワーク」「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」がともに 55.6%（5 件）となった。「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「ハローワーク」が 66.7%（4 件）と最も高く、次いで「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」「学校・各種学校・特別支援学校」がともに 33.3%（2 件）となった。「過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している」事業所は、「ハローワーク」との連携のみであった。



図 17-2 知的障害者雇用継続、職場定着で連携した関係機関（雇用現状別）



	回答件数 計	ハローワーク	長野障害者職業センター	県技術専門学校	県の無料職業紹介所	各圏域にある障害者就業・生活支援センター	学校・各種学校・特別支援学校	県市町村等の保健福祉機関・施設	医療機関・施設	民間の社会福祉施設	その他
現在障害者を雇用している	69	24	22	1	0	39	17	9	5	4	1
過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない	9	5	5	0	1	5	7	0	0	0	0
障害者を雇用する予定がない	6	4	2	0	0	2	2	0	0	0	0

<精神障害者雇用継続・職場定着について連携した関係機関>

【雇用現状別】

雇用現状別では、『精神障害者』の雇用継続、職場定着について、「現在障害者を雇用している」事業所では「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が 48.8%（21 件）と最も高く、次いで「長野障害者職業センター」37.2%（16 件）、「医療機関・施設」30.2%（13 件）となった。「過去に障害者を雇用したことがあるが、現在は雇用していない」事業所では、「長野障害者職業センター」「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」「学校・各種学校・特別支援学校」がともに 57.1%（4 件）、次いで「ハローワーク」が 42.9%（3 件）となった。「過去に障害者を雇用したことがないが、雇用を検討している」事業所、「障害者を雇用する予定がない」事業所では、「ハローワーク」との連携のみであった。



### ③採用後に障害者となった従業員の職場復帰について

採用後に『身体障害者』となった従業員の職場復帰について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は5.5%（45事業所）で、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」との連携が48.7%（19件）で最も高く、次いで「ハローワーク」が46.2%（18件）となっている。

採用後に『精神障害者』となった従業員の職場復帰について、関係機関と連携をしたことが「ある」事業所は5.6%（42事業所）で、「医療機関・施設」との連携が63.2%（24件）で最も高く、次いで「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」が42.1%（16件）となっている。

「ハローワーク」との連携は、『身体障害者』が相対的に高く、「各圏域にある障害者就業・生活支援センター」との連携では、『身体』、『精神』の障害区分ともに4割台となっている。また、「医療機関・施設」との連携は、『精神障害者』が相対的に高くなっている。

図 18 採用後に障害者となった従業員の職場復帰で連携した関係機関（複数回答：3つまで）

